

〈あきもと かつひろ〉
1956年生まれ。北海道大学法学部卒。79年札幌市役所入庁。2004年企画調整局情報化推進部長。その後、市民まちづくり局企画部長、南区長、市長政策室長などを歴任し、12年副市長。14年札幌市役所を退職し、札幌市長選に出馬。初当選を果たし、23年4月3期目当選。

新春インタビュー

2026年をデザインする

MICE施設、GX、 札幌丘珠空港滑走路延伸…etc 「稼げる都市札幌、の足場はできた」

札幌市長
秋元 克広氏

〈カメラ・守澤 佳崇〉

ターを開設されました。そうですね。クーリングシェルターの指定や気象状況に応じた札幌市独自の熱中症警戒情報の発出、熱中症予防の啓発などを行っているところ。クーリングシェルターについては、24年度は市有施設と民間施設合わせて100施設を指定していましたが、25年度は猛暑による熱中症対策の意識の高まりからさまざまな業種から協力の申し出をいただきました。

現在では、大型スーパーだけでなく、ドラッグストア、調剤薬局、家電量販店、書店なども加わり、25年10月末時点の指定施設は205施設となっています。クーリングシェルタ

ーにご協力いただける施設は、市ホームページで通年募集していますので、ぜひご覧ください。

——学校をはじめとする公共施設への冷房設備導入状況は。

市立学校・幼稚園については、現在普通教室や職員室へのエアコン整備工事を進めています。工事の契約はすべて完了していますが、設置には時間を要することになります。27年度までに段階的に設置を行う予定です。

——ノースファリサップポロの施設が全国的に取り上げられました。これまでの札幌市の対応について。

建築物に関しては、04年に違反行為を発見して以降、事業者に対

——2025年は全国的に記録的な暑さが続きました。ゼロカーボンシティとしての取り組みも交え、お考えを。

札幌市は、2030年に2013年比で温室効果ガス排出量を59%削減するという高い目標を掲げています。この達成に向けては、「徹底した省エネ

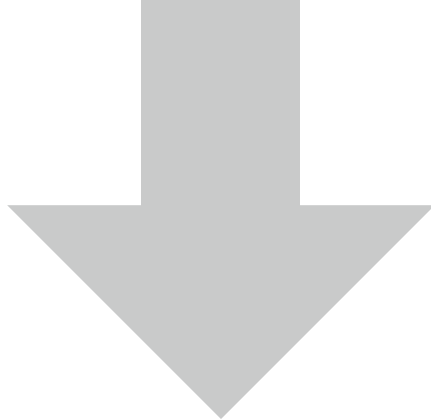
ルギー対策」「再生可能エネルギーの導入拡大」「移動の脱炭素化」「資源循環・吸収源対策」「ライフスタイルの変革・技術革新」といった施策を設けて取り組みを進めています。一方で、熱中症対策も同時に進めていかなければなりません。

——クーリングシェル

公共施設への冷房施設設置加速

190万人を超える札幌も、人口減少のフェーズに突入している。子育てしやすい環境や働きやすい環境の整備を民間企業や大学、地域など、多様なステークホルダーと協働で進め、地域の魅力度向上を図る。自身は3期目の折り返し。4期目を期待する声上がる一方、「より札幌を稼ぐ都市に」と冷静。目下の課題解決に汗をかく。

（取材・11月26日、市長室）



続きは『**月刊クオリティ**』本誌を
ご覧ください。

▼ ご購読のお申し込みは ▼

○インターネットでのお申し込みはこちらから
<https://qualitynet.co.jp/koudoku/>

○お電話でのお申し込みはこちらから

TEL 011-644-0101

(9:00 ~ 17:30 土日・祝日をのぞく)